

平成28年度 大阪府立生野高等学校 第1回学校協議会 記録

- 7月1日(金) 15:30~17:00
- 同窓会館(時習館) サロン
- 記録 首席

- ・出席者 (協議会委員) PTA会長代行 松原市立松原中学校長  
同窓会会長 元保護者 有識者(大阪教育大学教授)  
<欠席>松原市町会連合会会長  
(学校・事務局側) 校長 教頭<事務局長> 事務長 首席二名  
総務部長 教務主任 進路指導主事  
保健主事 自治会部長  
<欠席>図書部長

1 開会宣言

次第に添って協議をお願いする。各委員には、資料を事前に送っている。追加資料として、平成27年度GLHSの取り組み評価表、平成27年度SSHの報告書と論文集あり。

2 校長挨拶

今年から赴任した。本校はGLHSとSSHが2本柱。100周年に向かって飛躍したい。貴重なご意見を賜りたい。

3 協議会委員・事務局自己紹介(順次)と事務局長による資料確認

4 会長選出 → 恒例により、PTA会長(本日は代行)を選出

5 協議 ← これより、PTA会長代行が議長に

(1) 本協議会の実施要項と本年度運営計画について

「大阪府立生野高等学校学校協議会実施要項(案)」【資料1】の第2条に基づき、年3回この協議会を開催し、委員の皆様にご協議いただきたい。実施要項の承認を受け、【資料2】の通り運営をお願いする。

(2) 平成27年度学校評価報告書について【資料3】

1-1) 平均自学自習時間は、1年から2年への落ち込みを最小にとどめ、3年へ繋げていきたい。

2) TOEFLは、受験者数が少なかったため低い評価となった。英検の2級取得率は目標達成。

3) 読書の割合は、目標継続。

2-1) センター試験5教科受験者率は目標達成。しかし、SGU13大学合格者数は、少なかった。

3-1) 行事満足度は目標達成。部活動入部率も高い水準で推移。但し、学習との両立には苦勞している様子。

2) 遅刻者数は、減少した。不登校生徒に対しては、対策が必要である。

様々な課題はあるが、概ね全般的には目標達成できている。

\*質疑応答

○生野がこうやりたいというベクトルと、GLHSから示されたものとの違い(例、TOEFLと英検、現進学実績と13大学の実績、等)に関して、学校としての公式見解はどうか。

◆今年、国公立合格者数は上がってきている。中身の問題である。SGUは神戸大が入らず筑波大・広島大が入っている。異議を訴えている。最近では66期生が一番高く、68期生は志望が現実的であった。進路指導の方針としては、今まで“自由奔放”であったが、今後は高い目標を持たせるように指導を入れていくように方針変更していく。1・2年ではクラブがしんどいという言い訳や、携帯電話スマホに時間を取られている様子。実態を調査して、学習時間を管理していく。

○今、大学院ならどこにでも入れる。“どこで学ぶのか”より、“何を学ぶのか”が大切。

“どこ”は、将来就職にあまり影響しない。

◆生野は全国1位、2位、3位ある。合格者高校別ランキング 市大-1位、府大-2位、大教大-3位。大学ブランドより、大学で何を学ぶのかの時代である。

○SGU 13大学の指標はおかしい。目標達成のためにその大学に誘導するのは間違いである。

(3) GLHSの平成27年度評価シートについて【資料追加の①】

先週火曜日(6/28)に出た資料。まずは、GLHS 3期目指定のスケジュール説明。評価委員の中には、現状10校維持の意見と、新規に指定校を加えて入れ替え、活性化を求める意見とあり。前回2期指定では、6校の希望が有り、現状の10校が継続になった。来年度3期目の希望校を募る予定。

平成27年度は、全体として「A」の評価をいただいている。「A」は5段階の上から3つ目の評価。AAAは、1校、AAは4校、Aは5校。

スタサポの学力伸長の評価について。目標は、1年から2年へ下がり具合をできるだけ抑えること。課題研究活動については、コンテスト等の成績が評価されている。英語運用能力については、去年まではTOEFLのみの評価であったが、今年からはTOEFLは必須で、プラス他(英検等)も評価されるようになった。目標は、TOEFLを評価されるようにすること。13大学の評価については、高等学校課は大変きめの細かい評価をしている。

\*質疑応答

○教育長が代わって、シフトチェンジ。現場の声を聞くようになってきたのでは。“ダブルスタンダード”TOEFLと難関大学。おそらく、以前に戻っていきだろう。教育施策で科せられていることも同様だ。

◆生野の特徴は、素朴・真面目・一生懸命プラスクラブ一生懸命。この3つをアピールしていこうと思う。

外から見るとどうか。どう見られているか各委員の意見を聞きたい。

○素朴はいいが、のんきすぎる。自分たちだけの世界(スマホのやりとりのこと)が楽で、外の世界を見ないようにしている。

○のんきは伝統的。昔と比べると、文武両道、学力面でも向上している。

○1年で下がり2年で上がる、素直従順な証拠。上がる要因は何か。中学校でも活かしたい。

◆実は、7月・11月の模試は下がっていた。12月以降に危機感もって取り組んだ。落ち込みも大きかったので、危機感も大きかった。他校では、スタサポを重要視していないところもある。本校は、重要視して真剣に取り組んでいる。

(4) 平成28年度学校経営計画について【資料4】

基本的には、前年度踏襲。英検2級取得数の向上。電子黒板・ICT活用、アクティブラーニング、既に導入・活用しているが、さらなる充実・改善。センター試験受験者数、遅刻生徒人数、前年度以上の目標を目指す。

(5) SSHの取り組みについて【資料追加の冊子2冊】

前年度からの継続として、課題研究活動の充実を目標とする。最近の取り組みでは、ミラクルチャレンジ(キャリア教育プログラム)企画が数件ある。

◆2期目は、研究倫理の育成、評価方法の確立を目指している。2期指定は申請の約3分の1。課題研究の質と量(数)で本校は獲得できた。

(6) 本年度の教科書採択について

選定した教科書と理由一覧は次回の協議会に提出する。普通科は検定教科書。専門学科の文理学科は自由に選ぶことができる。

◆最近世間を騒がせている事案。本校の採択の流れは、資料の通り。業者も見本数確認など気を遣っている。

(7) 学校協議会に対する意見書について

最近はない。数年前は提言をいただき、当協議会の審議を経て改善した。保護者からのご意見は、主に毎年の学校教育自己診断からの意見を吸い上げている。

(8) その他 GLHS予算取り組み計画書【資料7】

GLHS予算の4つの事業についての説明。「骨太の英語」予算と合わせて、ネイティブの英語教員は3名になった。

- ◆70分5限2期制は、一長一短ある。50分7限3学期制の検討も始めている。委員の皆さんはどう思われますか。
- 2期制でいいと思う。3学期の入試休み期間が長く何とかしてほしい。70分は慣れたと思う。  
生徒の集中力はどうか。
- 集中力も、慣れたと思う。
- 小学45分から中学50分も慣れるまでは大変。先生も大変。
- 70分でいいと思う。大学の授業も長い。中学から高校も集中することが大切。弊害は改善すればよい。
- アクティブラーニングをすとなれば時間は長く必要。大学の90分はあっという間。タイムマネジメントがより大切。時間枠が広い方がやりやすいが、成果を上げなければならない。校内で大きな論議が必要。流行にのることは不要。小学校の2期制がいい例。生徒に聞くことも不要。先生が生徒にどういう力をつけさせるのか。
- ◆10数年前から実施。北野・茨木65分、高津・岸和田・豊中50分、天王寺45分。
- 「生徒のために」という視点を第一に共通認識を持って議論をお願いしたい。
- ◆陸上部が、6種目でインターハイに出場する。ソフトテニス男女とも近畿大会へ出場し、男子は個人戦でインターハイへ出場。写真部、書道部も連続で全国大会へ出場する。部活動の好成績を皆さんに披露する。

## 6 閉会宣言

## 7 事務連絡

当協議会の第2回は10～11月を予定。第2回はH28の進捗状況をご報告し討議いただきます。

委員の皆様には事前に連絡し、日程調整させていただきます。本日はありがとうございました。

委員の皆様にはマイナンバーの提示をお願いします。